

事業番号	事務事業名	木材需要拡大推進事業	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
03759	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	林務係	担当者・シート作成者	阿部 良文
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和3年度より鏡野中学校に導入する町産材を使用した木の学習機の作成及び新入生(小学6年生)、生徒(中学1、2年生)と組み立てワークショップを開催。	木材の良さを身近に感じふるさとの愛着を育み、豊富な町産材の利用拡大を図るため、令和元年8月より開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町内人工林	ア 蓄積資源量	m <sup>3</sup>	見込 実績		6,338,010 6,238,119	6,238,119 6,292,510	6,292,510	6,292,510
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町産材の利用拡大	ア 町産材を利用した製品開発	種類	目標 実績 達成率		7 7 100.0%	6 6 100.0%	4	2 300.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 木の学習機の導入	ア 木の学習機の組立人数	人	目標 実績 達成率			324 324 100.0%	123	97 334.0%
イ 公共施設への導入	イ 町産材を利用した備品	種類	目標 実績 達成率			5 5 100.0%	0	#DIV/0!
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 02		大事業 中事業					事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		01	06	予算上の事業名			
	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算 (千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源		284	20,106	5,551	5,551	19,822	一般財源		283	19,737	5,551	5,551	19,454	
合計		284	20,106	5,551	5,551	19,822	合計(A)		283	19,737	5,551	5,551	19,454	

財源名称	従事正職員人数		2	2	2	2			
	延べ業務事務時間		40	80	70	70	40		
	人件費計(千円)(B)		140	267	235	235	127		
	最終予算額 20,106 千円	予算執行率	98.1%	トータルコスト(A+B)		423	20,004	5,786	5,786

主な 支出事業内容 (予算)	旅費	145 千円	主な 支出事業内容 (決算)	旅費	0 千円
	需用費	10,230 千円		需用費	10,230 千円
	役務費	575 千円		役務費	386 千円
	委託料	210 千円		委託料	176 千円
	備品購入費	8,946 千円		備品購入費	8,946 千円

事業番号	03759	事務事業名	木材需要拡大推進事業	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	森林資源は年々充実しており、従来の建築利用以外にも、用途を広げていく必要がある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	令和元年度より開始。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?	町産材を利用した木の学習机、公共施設へ導入した備品については、木の温かさ、良さが伝わるとの評価する声が高い。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> これまでは建築利用以外に町産材の利用拡大を図る事業がなく、本事業により新たな需要を生み出している。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 町産材の利用を促進するためには、素材生産だけではなく、需要を喚起する必要があり、妥当と考える。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 事業開始2年目であり、現段階では適切であるとする。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 2年目の取組については、目標水準には達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 森林資源を有効活用し、森林整備を推進するためには、住宅用途以外の木材利用の促進を図る必要があるため、影響がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 事業を継続しながら、実績を積み上げ、より成果を上げる方法を検討する。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 現段階では、削減余地はないと考える。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 現段階では、削減余地はないと考える。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 中学校、公共施設を対象としているため、公平・公正となっている。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	町産材利用拡大に向けて必要な事業であり、現状で考えられる最善の取組を行っており、新たな取組を行う場合も適切に対応する。																						
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																							

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)